

情報公開文書

西暦 2025 年 10 月 24 日作成

項目		
試料・情報の 利用目的及 び利用方法	研究課題名	免疫調整薬内服患者における抗血栓薬使用状況と静脈血栓塞栓症発症の実態調査
	研究対象者	2024年9月1日から2025年8月31日までの期間で、多発性骨髄腫に対してLENまたはPOMを使用した患者
	研究目的	造血器腫瘍診療ガイドライン2024年版において、多発性骨髄腫に対する免疫調整薬を含む化学療法では、低用量アスピリンの予防内服がDVTの発症予防に推奨されている。しかし、DVTの予防には抗凝固薬が選択されるのが一般的である。そこで今回、当院にてLENまたはPOM内服患者における抗血栓薬の使用状況とDVTの発症状況について調査したい。
	研究方法	電子カルテにて後方視的に、多発性骨髄腫に対してLENまたはPOMを内服している患者、併用している抗血栓薬やDVTの発症状況を調査した。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	2025年10月31日～2026年3月31日
利用する試料・情報の項目（チェック[X]のある項目を利用します）	[ ] 情報:	[X] 診断名（臨床病期や分類、病理診断を含む）、[X] 年齢、[ ] 生年月日、[X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[ ] 外来日・入院日・退院日、[X] 臨床検査値、[ ] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[ ] ゲノムデータ、[ ] 看護記録、[X] その他（具体的に記載：使用薬剤）
試料・情報を利用する者の範囲	当院研究責任者	所属・氏名 済生会横浜市南部病院 薬剤部 薬剤部長 加藤 一郎
	共同研究者	所属・氏名 生田和之 海野祥生 高木淳也 木原星衣 鹿間友絵 山口琴子 細田菜摘
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		済生会横浜市南部病院 薬剤部 張 友樹 連絡先 045-832-1111  利用停止のお申し出は研究終了日までにはお願いします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります